

令和6年6月定例会議 一般質問【日曜議会】

9番議員 佐々木 昇

より効果的なごみ行政を

本町では、第五次開成町総合計画後期基本計画の施策「資源循環型社会の形成」の中にある詳細施策「①ごみの減量化・資源化の推進」、「②ごみの適正処理の推進」に取り組んでいる。

「ごみの減量化・資源化の推進」では、基本方針を「ごみの発生回避（リフューズ）、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）によるごみの減量化・資源化を推進します。」とし、これを基に各取り組みが行なわれている。

その取り組みの一つに「資源化率の向上を図るため、分別ルールの周知徹底に努めます。」があり、この取り組みについては現在、複数のツールを活用するなど積極的に取り組んできたことは理解する。しかし、町民からはいまだにごみの分別ルールをはじめ、ごみに関する意見が多く出される。せっかくの取り組みも効果に結びつかなければ無意味になってしまう。町民にとって身近なごみ行政がより効果的になる取り組みが必要と考え以下の項目について問う。

1. ごみ行政について町民と共通認識は出来ているか。
2. ごみ出しや分別ルール徹底への取り組み評価と課題は。
3. 4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）運動の取り組み評価と課題は。